

令和8年度 定時総会 議案書

令和8年6月10日

議	案		
第一号議案	令和7年度 事業報告に関する件	……………	1
第二号議案	令和7年度 貸借対照表、財産目録、 正味財産増減計算書及び収支決算書に関する件	……………	14
第三号議案	補欠理事の選任に関する件	……………	21
第四号議案	名誉会員の推挙に関する件	……………	21
報	告		
	令和8年度 事業計画及び事業予算について	……………	23



一般社団法人 日本建築美術工芸協会

〒108-0014 東京都港区芝5丁目26番20号

建築会館 6F

TEL (03) 3457-7998 FAX (03) 3457-1598

<総会当日に本議案書をご持参下さい。>

議 事

[第一号議案 令和7年度 事業報告に関する件]

令和7年度の事業は次の通り実施致しました。

1) 定時総会

日 時 令和7年6月11日(木) 15時00分～16時30分
場 所 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)
司 会 総務委員長 小谷純造

1、定足数報告 二本柳事務局長より報告

会員総数 342名(個人会員247名、法人会員95名(社))

出席者数 188名(出席会員 62名、議決権行使書提出会員57名、委任状提出会員 69名)

本日は、定款17条の規定により 本日会員数の過半数の出席を要しますが、その数171名を超過しており、本日の総会は成立する旨報告があった。

2、会長挨拶 東條会長

定時総会に先立ち、本年 3/4 に当協会常務理事 芝山哲也氏 ご逝去されました。当協会の発展に大変尽力いただきました。その功績に心より感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

本日は「令和7年度定時総会」にお集まりいただき誠にありがとうございます。コロナ禍が明けて2年ほど経ち、当協会の活動は従前にも増して順調に取り進めることができました。

さて、その活動の中で先ず「パーセントフォーアート」についてお話をしたいと思います。6/4 お隣の韓国では大統領選挙が行われ、新しい大統領が生まれました。その韓国における文化芸術政策について昨年、現在、北海道教育大学岩見沢校の閔 鎮京 (ミン ジンキン MIN Jinkyung) 先生にお話を伺いました。

韓国では大統領制の統治構造であり、その政権別に「文化政策」が異なっています。朴正熙(パク・チョンヒ)大統領の時代 1972 年に「文化芸術振興法」が制定され、その中で「公共建築費の1%」を美術作品に充てることが明記され推奨されました。その後 金 泳三(キム・ヨンサム)大統領の時代の 1995 年の「文化芸術振興法」改正時にそのことが義務付けられています。さらには李明博(イ・ミョンバク)大統領の時代 2011 年に芸術家の職業的地位と権利を法律で保護する「芸術家福祉法」ができました。また、朴槿恵(パク・クネ)大統領の時代 2013 年に「文化基本法」「地域文化振興法(2014 年)」「文化多様性の保護と増進に関する法律(2014 年)」、国民余暇活性化基本法(2015 年)等、文化政策関連の法律が制定され、文化政策の基盤が整備されました。文在寅(ムン・ジェイン)大統領の時代には創作環境改善と福祉強化で芸術家の「創作権保障」を提示し、「芸術家の地位及び権利保障に関する法律」(2021 年)を制定、芸術家生活安定資金融資を新設(2019 年 6 月)、芸術家雇用保険を導入(2020 年 12 月)する等、芸術家を対象とした政策に対して積極的に取り組んでいます。このように大統領が変わるたびに、文化政策が積み重ねられてきています。文化芸術の振興とともにその担い手である「芸術家」の創作活動ができる環境づくりのための施策が進められています。

aaca では、お話しした韓国の事例やほかの国々の事例もふまえ、日本におけるパーセントフォーアートの考え方を理解していただく活動を進めて参ります。

aaca の活動は会員の皆様が自発的に企画しそれぞれが情報発信に努めています。AACAA 賞 2024、「地域創生連続講演会」、「第 7 回 BOX 展」、「第 1 回 aaca 建築・美術・工芸作品展」に多くの参加をいただきました。また、会員相互の交流・研鑽を目的とした「aaca フォーラム」、「aaca サロン」「建物視察会」を企画しました。また、情報文化研究委員会では永年「市中の山居」をテーマに研究を続けてきた成果を冊子(今年 5 月発刊)にまとめました。広報委員会では「会報 98 号、99 号、100 号」を発行しました。一昨年にリデザインされた「会報」とともに、「ホームページ」も新たなものに生まれ変わり、内容も興味をもってお読みいただける内外に発信力のある媒体となつてきていると思います。

後ほど協会の決算について報告がありますが、残念ながら一昨年よりは改善されてきましたが、令和 6 年度赤字決算となりました。今年度はさらに改善を図り、健全な状態を目指します。

会員の皆様が参加・交流すること、その活動を通じて内外に当協会の憲章・理念に基づいた様々な発信をしていきたいと思ひます。

ありがとうございました。

3、議長選任

定款15条の規定により会長 東條隆郎が議長に選任され議事に入った。

4、議事録署名人の選任。

議長より議事録署名人に任ずる件、出席者の中から 齋藤潮美(個人会員)氏・繁昌 勝浩(法人会員・株式会社エフワンエヌ)氏が議長より指名され、満場一致にて承認された。

5、議 事

議長より議案の提案説明を担当者に要請された。

第一号議案 令和6年度事業報告に関する件は和出専務理事より提案。

第二号議案 令和6年度 貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、及び収支計算書に関する件は二本柳事務局長より提案。

令和6年度の会計及び業務について監査報告は監事を代表して尾崎監事より報告。

議長より採決を諮ったところ、第一号・二号議案は原案通り満場一致にて承認可決された。

第三号議案 令和 7・8 年度 理事・監事選任に関する件は議長より提案。

議長より、下記の理事・監事候補者が提案され採決を諮ったところ満場一致にて可決された。

理事 大草 徹也、勝山 里美、北 典夫、児玉 謙、齊藤 博之、東條 隆郎、
中野 恵美子、中村 純、鳴海 雅人、原田 哲夫、日置 滋、藤本 裕之、堀越 英嗣、
松村 正人、三塩 達也、本 耕一、森 暢郎、山崎 和子、米林 雄一、和出 知明
以上 20 名
監事 尾崎 勝、森田 高年
以上 2 名

第四号議案 東條会長より故松本哲夫氏の長年にわたり多大なご貢献を頂いた事に顧みて「名誉会員の追贈」が提案され採決を諮ったところ満場一致にて可決された。

6、報告

東條会長より「令和7年度事業計画」に報告があった。

また、令和7年度収支予算書について二本柳事務局長より報告なされた。

議長は、以上をもって本日の議事終了を宣言し議事を終了した。

7、理事・岩井副会長より閉会挨拶がなされ、通常総会は閉会した。

8、報告

令和7年度・8年度 役員紹介

同日別室にて開催された、第二回理事会に於いて互選により決定された役員、及び理事・監事を、東條新会長から出席者に発表された。

(新任以外は再任、あいうえお順)

会長(代表理事) 東條 隆郎

副会長・理事 森 暢郎、米林 雄一

専務理事 和出 知明

常務理事 本 耕一、中野 恵美子

理 事 大草 徹也、勝山 里美、北 典夫、児玉 謙、斉藤 博之、中村 純、鳴海 雅人、原田 哲夫、日置 滋、藤本 裕之、堀越 英嗣、松村 正人、三塩 達也、山崎 和子

監 事 尾崎 勝、森田 高年

議長は以上をもって本日の議事終了を宣言した。

7. 岩井副会長より閉会挨拶がなされ、定時総会は閉会した。

2)第35回 日本建築美術工芸協会賞 表彰式

令和7年12月10日設立記念総会にて表彰されました。

AACA賞 「小豆島 The GATE LOUNGE」

秋吉 浩気 建築家 VUILD 株式会社 CEO /中井 彬人 アーキテクト /

伊勢坊 健太 コンピューテーショナルデザイナー /中澤 宏行 シニアアーキテクト

荒木美香 合同会社 Graph Studio 構造 設計・監理 /氏岡啓威

谷口景一郎 合同会社スタジオノラ 環境設備 設計・監理 /藤村真喜

美術工芸賞 「荏原 畠山美術館」

渡邊 智介 大成建設株式会社一級建築士事務所 設計本部建築設計第四部

設計室 室長 /有泉 祐子 プロジェクトアーキテクト /杉江 夏呼 先端デザイン

- 部 伝統・保存設計室 室長 /中谷 扶美子 プロジェクトアーキテクト /横山 恭
太 第4部設計室 担当部長
榊田 倫之 株式会社新素材研究所 取締役所長 /富岡 大 /幾留 温
- 美術工芸賞 「会津柳津駅舎情報発信交流施設」
田中 大朗 株式会社 TIT 代表取締役
池田 晃一 ・ 株式会社 TIT ・代表取締役
富沢 真二郎 ・ 株式会社 TIT ・代表取締役
安部 遥香 ・ 株式会社 TIT ・設計主任
- 芦原義信賞 「大阪避雷針工業神戸営業所」
山崎 篤史 株式会社竹中工務店 チーフアーキテクト
大石 幸奈 株式会社竹中工務店 主任
村上 友規 株式会社竹中工務店 主任
- 優秀賞 「Lens Park」
榮家志保 EIKA studio
「小田垣商店」
榊田 倫之 株式会社 新素材研究所 代表
内海 美里 株式会社 新素材研究所 所員
津村 晶 株式会社 新素材研究所 所員
「警固竹友寮」
木下 美佳 竹中工務店 大阪本店設計部 主任
- 奨励賞 「新札幌アクティブリンク」
出口 亮・大成建設株式会社一級建築士事務所・シニアアーキテクト
渡邊 竜一・株式会社ネイ&パートナーズジャパン・代表取締役 /池邊 慎一郎・プ
ロジェクトアーキテクト
安東 陽子・株式会社安東陽子デザイン・代表取締役
「対馬博物館」
能勢修治 石本建築事務所
大橋航 石本建築事務所
「make SPACE」
前田 圭介 株式会社 UID 代表取締役
- 美術工芸奨励賞 「黎明小橋」
星野 裕明・株式会社ホシノアーキテツツ・代表取締役
- 特別賞 「TODA BUILDING」
河野 利幸・戸田建設株式会社・顧問 /中川 康弘・室長 /一條 真人・主管 /田
嶋 友一郎・主管 /吉川 拓也・主管
吉田 新・株式会社プレイスメディア・フェロー /吉澤 眞太郎・パートナー /入江
貴道・パートナー
目黒 朋美・トモルデザイン・メグロ株式会社 ・代表取締役

入選 「Grove Strolling Corridor」「学ぶ、学び舎」
「ヤマト本社ビル A 棟・B 棟」「自由な家」
「TAC.T BRIDGE」「ナミツキ 大洗の民泊ダイニング」
「蔵春閣」 (19 作品)

3) 第 37 回 設立記念総会

令和 7 年 12 月 10 日(水) 14:30～19:15 建築会館大ホールにて開催

出席者: 法人会員 33 名 個人会員 51 名 受賞者来賓 36 名 報道関係者 5 名 合計 125 名

4) 理事会

令和 7 年度理事会は次の日程により 5 回開催された。

第一回理事会	令和 7 年 5 月 21 日(水)	建築会館	協会事務局
第二回理事会	令和 7 年 6 月 11 日(水)	〃	〃
第三回理事会	令和 7 年 7 月 23 日(水)	〃	〃
第四回理事会	令和 8 年 10 月 22 日(水)	〃	〃
第五回理事会	令和 8 年 1 月 28 日(水)	〃	〃
第六回理事会	令和 8 年 3 月 25 日(水)	〃	〃

5) 企画運営会議

令和 7 年度企画運営会議は次の日程により 11 回開催された。

4 月企画運営会議	令和 7 年 4 月 10 日(木)	建築会館	協会事務局
5 月企画運営会議	令和 7 年 5 月 15 日(木)	〃	〃
6 月企画運営会議	令和 7 年 6 月 19 日(木)	〃	〃
7 月企画運営会議	令和 7 年 7 月 17 日(木)	〃	〃
9 月企画運営会議	令和 7 年 9 月 18 日(木)	〃	〃
10 月企画運営会議	令和 7 年 10 月 16 日(木)	〃	〃
11 月企画運営会議	令和 7 年 11 月 20 日(木)	〃	〃
12 月企画運営会議	令和 7 年 12 月 18 日(木)	〃	〃
1 月企画運営会議	令和 8 年 1 月 22 日(木)	〃	〃
2 月企画運営会議	令和 8 年 2 月 19 日(木)	〃	〃
3 月企画運営会議	令和 8 年 3 月 19 日(木)	〃	〃

6) 役員・委員・新入会員交流会

aaca 夏季交流会

令和 7 年 8 月 25 日(月) 18:00 より アリスクアガーデン 田町にて開催

出席者 個人会員 21 名 法人会員 24 名 新入会員 8 名 合計 53 名

aaca 新春のつどい

令和8年1月30日(金) 18:00より アリスアクアガーデン田町にて開催
出席者 個人会員37名 法人会員20名 新入会員3名 合計60名

7)他団体・会員活動 協会名義後援事業

I. 他団体

・R&R 建築再生展 2025 組織委員会 「R&R 建築再生展 2025」

期間:25/11/1～12/11

・一般社団法人 フェーズフリー協会 「PHASE FREE AWARD 2026」

期間:26/1/16(金)～26/9/26(土)

II. 会員

・中野 恵美子会員より

テキスタイルアート・ミニアチュール9 一百花百希一

期間1 :25/5/13(火)～5/18(日)

会場1 :京都 ギャラリーマロニエ

期間2 :25/6/5(木)～6/14(日)

会場2 :東京 Gallery 5610

・米林 雄一会員より

TO THE FUTURE 米林雄一 展

期間:25/3/16(日)～5/18(日)

会場:ギャラリー1045 富山

・中村 茂幸会員より

いりや KOUBO およびいりや KOUBO 受賞展

期間:25/3/1(土)～12/31(水)

会場:いりや画廊

・山崎 和子会員より

「第三回 一期一会展」 後援名義使用願いの件

期間:4/20(月)～4/26(日)

会場:のばな画廊

8)各委員会による実施事業報告 別紙参照 (P10～13)

9) 会勢報告 (R8年4月末)

年度	個人会員	法人会員	名誉会員	年度	個人会員	法人会員	名誉会員
設立時	143	30(無)	3	H20年	371	81(付与)	0
H 1年	336	121(無)	4	21年	348	86(付与)	0
2年	440	135(無)	4	22年	363	73(付与)	0
3年	532	164(無)	4	23年	325	71(付与)	0
4年	558	175(無)	4	24年	296	66(付与)	0
5年	594	157(無)	3	25年	274	62(付与)	4
6年	592	160(無)	3	26年	249	66(付与)	3
7年	594	169(無)	2	27年	254	75(付与)	4
8年	591	164(無)	2	28年	265	98(付与)	4
9年	597	159(無)	1	29年	266	110(付与)	4
10年	597	161(無)	1	30年	263	109(付与)	4
11年	590	159(無)	1	R 1年	263	109(付与)	3
12年	570	142(無)	1	2年	281	112(付与)	3
13年	509	122(無)	1	3年	265	104(付与)	3
14年	493	120(無)	1	4年	245	94(付与)	5
15年	498	120(無)	1	5年	239	93(付与)	5
16年	430	110(無)	0	6年	247	89(付与)	2
17年	444	110(無)	0	7年	254	94(付与)	2
18年	443	88(無)	0	8年	252	94(付与)	1
19年	402	83(付与)	0				

議決権: 無し or 付与

10) 令和7・8年度役員 (理事・監事) 職業は令和7年6月末現在

(任期 令和7年6月11日より令和9年定時総会まで)

会長	(理事)	東條 隆郎	建築家
副会長	(理事)	森 暢郎	建築家
副会長	(理事)	米林 雄一	彫刻家
専務	(理事)	和出 知明	(株)梓設計 専務取締役
常務	(理事)	本 耕一	建築家
常務	(理事)	中野 恵美子	工芸家
理事		大草 徹也	(株)三菱地所設計 副社長執行役員
理事		勝山 里美	編集家 建築家
理事		北 典夫	鹿島建設(株) 専務執行役員
理事		児玉 謙	(株)日建設計 代表取締役副社長
理事		斉藤 博之	(株)久米設計 設計推進本部ダイレクター
理事		中村 純	(株)大林組 常務執行役員 設計本部副本部長
理事		鳴海 雅人	(株)佐藤総合計画 デザインフェロー
理事		原田 哲夫	(株)竹中工務店 常務執行役員
理事		日置 滋	建築家
理事		藤本 裕之	清水建設(株) 常務執行役員 設計総本部 設計本部長
理事		堀越 英嗣	建築家
理事		松村 正人	大成建設(株) 常務執行役員
理事		三塩 達也	(株)日本設計 取締役専務執行役員
理事		山崎 和子	染色造形家
監事		尾崎 勝	建築家
監事		森田 高年	森田事務所

11)令和7年度 企画運営会議・各委員会委員

(令和7年6月末現在、委員は50音順、*印は法人会員)

<企画運営会議>

東條会長、岩井副会長、米林副会長、森副会長、和出専務理事*、本常務理事、山崎理事、尾崎監事、森田監事、可児表彰委員長、高橋(圭)情報文化研究委員長*、木村文化事業委員長白石会員交流委員長*、萩尾フォーラム委員長、勝山広報委員長、松本会員増強委員長小谷総務委員長*、高橋パーセントフォーアート研究委員長*、飯田展覧会委員長*二本柳事務局長*

<常置委員会>

・表彰委員会 委員長 可児 才介 副委員長 石原 智也*

委員 岩井 光男 岡本 賢 東條 隆郎

・情報文化研究委員会 (協力理事 監事 尾崎 勝) 委員長 高橋 圭太郎*

副委員長 栗田 祥弘

委員 雨山 智子 大田 敏彦 置鮎 早智枝 外野 雅博 中川 一人
中島 三枝子 中村 仁美 中村 弘子 藤田 益一 渡邊 智介

・会員交流委員会 (協力理事 大草 徹也*) 委員長 白石 健次*

副委員長 高根 喜一郎 村岡 謙治* SD 小見山 信巳* 松隈 章* 水野 吉樹*

委員 澤田 篤徳* 二本柳 敏* 繁昌 勝浩* 山田 修爾* 田所 保浩*

・文化事業委員会 (協力理事 和出 知明*) 委員長 木村 慶太

副委員長 島本 健司* 杉山 成明* 高柳 登美 向 利也*

委員 遠藤 隆宏* 小室 陽一* 清水 望実* 鈴木 崇仁* 鈴木 正義* 長谷川 諭*
馬 驍*

コアスタッフ 鈴木 敏正* 沼田 健一* 溝辺 陽* 繁昌 勝浩* 岩田 淳子*

・フォーラム委員会 (協力理事 日置 滋) 委員長 萩尾 昌則

副委員長 市村 陽子

委員 柏尾 栄 中野 恵美子

山崎 和子 宮崎 桂一 寺本 沙香江 岡本 直枝

・広報委員会 (協力理事 本 耕一) 委員長 勝山 里美

副委員長 中村 弘子

委員 金原 京子 齋藤 潮美 竹生田 正 津下 庄一 森田 高年 山崎 和子 山本 茂義

・会員増強委員会 (協力理事 北 典夫*) 委員長 松本 哲弥

副委員長 石原 智也*

委員 石井 陽子* 泉 雄太* 遠藤 貴弘* 大草 徹也* 大西 宏治* 尾崎 勝

篠田 秀樹* 東條 隆郎 森田 高年 山極 裕史 横村 克史*

渡辺 猛* 渡邊 智介

・総務委員会（協力理事 森 暢郎） 委員長 小谷 純造*

副委員長 鈴木 敏正*

委員 中野 恵美子 二本柳 敏* 松本 哲弥*

アドバイザー 和出 知明*

・パーセントフォーアート研究委員会 委員長 高橋 章夫*

委員 石原 智也* 勝山 里美 齊木 慶一 杉山 成明*

高柳 登美 東條 隆郎 二本柳 敏* 萩尾 昌則 本 耕一 森 暢郎

米林 雄一 和出 知明*

・展覧会委員会（協力理事 三塩 達也*） 委員長 飯田 郷介(11月より齋藤卯乃へ交代)

副委員長 齋藤 卯乃(11月より高須好子へ交代)

委員 犬飼 三千子 高須 好子 石垣 健 高崎 眞知子 渡辺 雅夫 山崎 和子

<特別委員会>

・協会賞選考委員会 委員長 古谷 誠章

副委員長 可児 才介

委員 金箱 温春 近田 玲子 藤江 和子 降旗 千賀子 堀越 英嗣

松井 龍哉 宮城 俊作 米林 雄一 和出 知明

・リデザイン委員会（協力理事 和出 知明*） 委員長 木村 慶太

副委員長 勝山 里美 山極 裕史

委員 高橋 圭太郎* 松本 哲弥 宮本 正信 山崎 和子

・拡大総務委員会 委員長 和出 知明

委員 総務委員会委員9名 尾崎 勝 岡本 直枝 勝山 里美 木村 慶太 白石 健次*

高橋 章夫* 高橋 圭太郎* 中村 弘子 萩尾 昌則 松本 哲弥 山極 裕史 山崎 和子

<事務局>

事務局長 二本柳 敏* 事務局員 浅野井 尚子 小松崎 実

委員会による実施事業報告 (令和7年4月1日～8年3月31日)

常置委員会	実施事業	実施時期	概要
表彰委員会	AACA賞の表彰事業	通年	応募要項作成、7月1日応募開始、9月6日応募締切、9月29日一次審査、現地審査を経て11月13日公開審査・AACA賞他決定
	表彰及び授賞式の実施	12月10日	設立総会にあわせて表彰式を実施
	AACA賞応募作品紹介誌の刊行	1月30日	表彰式の後資料編集・校正を経て印刷・発送
情報文化研究委員会	定例会(zoom会議) 「市中の山居」～共に生きる時代へ～冊子制作	毎月第二(火) 20:00-23:00 発刊日2025年5月	2018年東京藝大で行われた「市中の山居」座談会から6年。コロナ禍をへて、研究内容を外部に発信すべく「市中の山居」～共に生きる時代へ～冊子の制作、発刊を行った。 取材先 ・越谷レイクタウン 「レイクピース A様」「元越谷市企画部 0様」 ・柏の葉キャンパス・アクアテラス 「千葉大学・S准教授」「UDCKデレクター東京大学・D教授」 「鹿島建設・設計部M様 計画中案件取材」 ・町田市・高ヶ坂松葉調整池 「町田市役所」「NPO鶴見川源流ネットワーク・F様」 「慶応大学理工学 部・M教授」 *2018年座談会や各取材テープの文字起し・編集・確認を進めた
	七福神巡り (日本橋方面)	2月1日	参加者 11名 コース：東京メトロ：人形町駅集合・小網神社を筆頭に参拝。小伝馬町にて解散した。
文化事業委員会	地域創生Vol.3 連続講演会-3	11月14日	「パーセント for アートで地域創生を目指す街」群馬県 「動き出したパーセントフォーアート」群馬県 登壇者：佐藤貴昭(群馬県地域創生部長) 「建築とアートが活きるまちづくりが地域創生を動かす」 登壇者：山重徹夫(アートディレクター)
フォーラム委員会	第209回 aacaフォーラム	6月27日	「都市のダイナミズム 東京ダンジョンdungeon体験」 地上の歩行者ネットワークが緑に溢れアートも共存し魅力的な大丸(大手町・丸の内・有楽町)エリアは、実は地下歩行者ネットワークも充実していて、大手町の端から銀座のGINZA SIXや歌舞伎座や日比谷エリア、八重洲の東端の京橋まで、雨でも濡れることなく往來することが可能で、丸の内ダンジョンとも東京駅ダンジョンとも呼ばれマニアの涉獵エリアともなっている。地下の賑わいがあり、地上との結節点があり、アートと共生する場がありながら、通常は目的地までの経路でしかないこのダンジョンを、端から端まで広く散策し、「北町奉行所から南町奉行所まで」をサブテーマに歴史のレイヤを紐解きながら、都市のダイナミズムを体感する企画。 【講師：萩尾 昌則(フォーラム委員会)】
	第210回 aacaフォーラム	10月27日	「Aalto Talks in JAPAN」 フィンランドのエヴァスキュラ市にあるアルヴァ・アアルト設計のセイナツァアロの町役場で「Aalto Talks」というガイドツアーに取り組みされているPeter de GrootさんとAnnika Vandeveldeさんご夫妻をお招きした講演会。「アルヴァ、アイノ、エリッサ・アアルト 建築とデザインにおける人間的アプローチ」と題し、アイノ&アルヴァ、そして後にエリッサ&アルヴァの密接な協働関係がいかにして20世紀西洋建築とデザインを代表する象徴的作品の数々を生んだのか、について、1920～30年代のモダニズムを人間的で自然と調和する建築へと転換させたアアルトたちの取り組みを掘り下げ、アルヴァ、アイノ、エリッサの三人の協働プロセスに迫り、アアルトたちの個性や才能、ヴィジョンがいかに融合し、建築・家具・ガラス工芸といった象徴的な作品を生み出したのか、が語られた。 【講師：Peter de Groot/Annika Vandevelde】
	第211回 aacaフォーラム	1月25日	「虹色キューブ制作ワークショップ」 展覧会委員会で同時期に開催する作品展と連携した企画。作品展を機会に上京する地方会員を含め、aaca会員に会員相互の交流を広げる場として「ワークショップ形式」のフォーラムを開催。 光を操るアーティスト宮崎桂一さんが創る「虹色キューブ」は、TikTokやInstagramなどを通じ、見る角度や時間帯によって変化する光の表情ゆえに、透明素材と自然光が織りなす色彩の魔法として国内外で注目を集めている。 私たちの見回りの多くの「色」は、テレビやスマホは「光の三原色(RGB)」、写真プリントや印刷は「色材の三原色(CMY)」で成り立っているが、その仕組みを実際に体験し、視覚と感覚の両方で理解する機会は少ない。本ワークショップでは、宮崎さんの創作プロセスの一端を体験しながら、その繊細な光の世界を、宮崎さん自身の手ほどきで体験していただく機会となった。 【講師：宮崎 桂一(フォーラム委員会)】

常置委員会	実施事業	実施時期	概要
フォーラム委員会	第212回 aacaフォーラム	3月9日	<p>「都市のダイナミズム 空中回廊体験」 2025/4/5に廃止された銀座の高架道路「東京高速道路」(KK線)の視察(ウォーキング)企画。KK線は銀座の復興と周辺の渋滞緩和のため1966年に開通。全長約2キロメートルで京橋からJR山手線や東海道新幹線の線路沿いに銀座を通過して汐留までを、通行料無料で結節。高架下には飲食施設「銀座コリドー」や商業施設「銀座インズ」、企業のオフィスなどが入り、賃貸収入を道路の維持管理費などに充てて運営。PFI(民間資金を活用した社会資本整備)の先駆けとなるプロジェクト。KK線の廃止は、首都高速道路の日本橋区間の地下化に伴いKK線と接続する首都高のルートが変わり、通行量が大幅に減ると見込まれるため。廃止後は高架上を遊歩道として再整備し、歩行者中心の「空中回廊」にする予定。モデルとするのが米ニューヨークの貨物線跡の高架を再生した、景観に優れた公園として世界的に知られ、観光客の人気を集めている「ハイライン」。空中回廊は一部着工し、2030～2040年代の整備完了を予定。観光資源としてのKK線の再生は、東京の玄関口の景色を一変させる。京橋や有楽町で検討される再開発ビルと高架の遊歩道がデッキで接続されるため開発は長期の予定だが、今回は当該スカイウォークを関係者のご厚意で特別に先行体験し、都市のダイナミズムを直接体感する企画。 【講師：東京高速道路(KK線)職員】</p>
会員交流委員会	第19回aaca建物視察会	12月5日 ～6日	奈良・三重地区建物視察会を実施 「奈良国立博物館」同館宮崎課長に、「愛農学園農業高校森館(小谷校舎)」を野沢正光建築工房石黒氏に、「旧上野市庁舎SAKURABASE」をMARU.architecture森田氏に、「榎三輪山本本社」を同社山本常務に、「奈良ホテル」を同社津川氏にご案内頂く。また大和文華館、松柏美術館、佐伯邸、俳聖殿を視察(参加者：42名)
表彰委員会+会員交流委員会	第57回aaca芦原義信記念杯 (特別企画) 第2回 AACAA賞受賞 建物視察会	2月6日 10月7日	東名カントリークラブにて開催(参加者：17名) 安田幸一氏、安東直氏、村井久美氏のご案内による「ポーラ青山ビルディング+土浦亀城邸(第34回受賞建物)」(参加者：29名)
会員増強委員会	委員会開催	隔月	aacaサロン企画、新入会員紹介、他
	「aacaサロン」開催	年2回	2025.4.15 【第15回】現代の仏像と、その役割(江口泰観・松本哲弥) 2025.8.06 【第16回】サウンドスケープ・デザイン～風景に耳を開く～(庄野泰子・石原智也)
総務委員会	定時総会	6月11日	法人・個人会員114名にて建築会館大ホールにて開催。戸田建設の河野利幸様に「京橋とともに活き続ける新本社 TODA BUILDING」と題してご講演頂いた。
	夏季交流会	8月25日	法人・個人会員計53名にてアリスアクアガーデンにて開催。新入会員の皆様の自己紹介と各委員会紹介を行い、懇親を深める事ができた。
	設立記念総会	12月10日	法人・個人会員計118名にて建築会館大ホールにて開催。AACAA賞の入選作品の説明映像の映写と、各賞の表彰式を執り行った。
	新春のつどい	1月30日	法人・個人会員計62名にてアリスアクアガーデンにて開催。新入会員の皆様の自己紹介と各委員会紹介を行い、懇親を深める事ができた。

常置委員会	実施事業	実施時期	概要
広報委員会	会報101号発行	5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ■OPINIONS：共鳴 [7] 共鳴を誘う「美しさ」、クリエイティブは美意識を礎に／松井龍哉 ■特集：AACA賞 ■AACA賞の今、これから／古谷誠章、東條隆郎 ◎ [第34回AACA賞] クライアントの立場から：アートは感受性のスイッチ／横手喜一 ◎ [リ] 建築家の立場から：建築とアートが溶け合う関係をつくる仕組み／安田幸一 ◎ [リ] アート・ディレクターの立場から：ポーラ青山ビルディング アート・プロジェクト／村井久美 ■素材を知る [4] 繊維 タペストリーからファイバーアートへ／中野恵美子 ■七福神巡り2025 [情報文化研究委員会]／中島三枝子 ■2025年aaca新春の集い [総務委員会]／中野恵美子 (委員) ■第1回aaca建築・美術・工芸作品展 [展覧会委員会]／飯田郷介、齋藤卯乃、岡本直枝 ■第208回aacaフォーラム：パブリックアートの今 [フォーラム委員会]／市村陽子 ■『市中の山居—共に創る時代へ—』発行にあたり：本研究の意義を振り返る [情報文化研究委員会]／高橋圭太郎 ■パーセントフォーアートを知ろう [パーセントフォーアート研究委員会]／高橋章夫 ■私が思うaaca的空間 ◎アクティビティとの出会い／近田玲子 ◎ルイジアナ近代美術館／山本茂義 ■協会ニュース
	会報102号発行	9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ■OPINIONS：共鳴 [8] 感覚的につながる芸能—能楽／宝生和英 ■素材を知る [5] ガラス 媒体としてのガラス／平山健雄 ■令和7年度定時総会 [総務委員会]／小谷純造 ◎令和7年度定時総会 一會長挨拶／東條隆郎 ◎役員、委員会紹介 ◎街に開かれた「アートを実践するオフィスビル」／小林彩子 ■第15回aacaサロン：現代の仏像と、その役割 [会員増強委員会]／松本哲弥 ■第8回BOX展 [展覧会委員会]／齋藤卯乃 ■第209回aacaフォーラム：都市のダイナミズム 東京ダンジョン体験—遠山の金さんから大岡越前守へ— [フォーラム委員会]／柏尾栄 ■パーセントフォーアートを知ろう [2] 日本におけるパーセントフォーアート制度の可能性を考える／伊藤裕夫 ■私が思うaaca的空間 ◎T邸プライベートオペラホール—建築家、美術家、企業による空間創造—／露口典子 ◎NHK学園／森暢郎 ■協会ニュース
	会報103号発行	1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ■ごあいさつ／東條隆郎 ■OPINIONS：共鳴 [9] 人間の生存に欠かせない脳機能領域「美の認知」／中野信子 ■素材を知る [6] 漆 うるわしのちから／齋藤潮美 ■パーセントフォーアートを知ろう [3] 韓国における「建築物美術作品制度」の変遷と展望／関鎮京 ■2025年度 第37回設立記念総会・AACA賞2025表彰式 [総務委員会]／小谷純造 ■ACAA賞2025 (第35回)：公開・最終審査会 [表彰委員会]／可児才介 ■16回aacaサロン：サウンドスケープ・デザイン～風景に耳を開く～ [会員増強委員会]／石原智也 (委員) ■2025年aaca夏季交流会 [総務委員会]／中野恵美子 ■第210回aacaフォーラム：Aalto talks in JAPAN アルヴァ、アイノ、エリッサ・アアルト：建築とデザインにおける人間的アプローチ [フォーラム御委員会]／萩尾昌則 ■地域創生Vol.1.3 3 Vol.1.3 3連続講演会 [文化事業委員会]／木村慶太 ■第2回AACA賞受賞作品視察会2025：ポーラ青山ビルディング/土浦亀城邸 [会員交流委員会]／大草徹也 (担当理事) ■建築美術工芸・よもやま話 [4] 魅力あるaacaになるには？/会員H & 会員K & 会員T ■私が思うaaca的空間 ◎南禅寺水路閣／尾崎勝 ◎フレスコ画のある空間／大野彩 ■協会ニュース

常置委員会	実施事業	実施時期	概要
パーセントフォーアート研究会委員会	PFA講演会	通年	美術家連盟との共同企画 2025.04 山重徹夫氏「群馬のパーセント・フォー・アート」勉強会
	PFA研究・情報収集 制度化への活動	通年	2025.08 第2回「パーセントフォーアート制度に関するアンケート」実施 2025.09 群馬県 中之条ビエンナーレ2025 視察 パーセントフォーアート条例が実施されている建築・美術・工芸の歴史的 地域文化の視察 2025.11 第2回 アンケートデータの数値化と会員への開示 2026.01 パーセントフォーアートに関する意見交換 小林真理教授 2026.02 政府への提言骨子案の作成 2026.03 群馬パーセントフォーアート推進条例に基づく施策の視察 敷島公園新水泳場「仮囲いデザイン・アートコンテスト」公開審査参加
	地方自治体との連携	通年	2025.12 群馬県 敷島公園新水泳場「仮囲いデザイン・アートコンテスト」周知協力 2026.02 群馬県 山本一太知事、地域創生部 佐藤貴昭部長 表敬訪問 aaca定時総会での講演依頼 2026.02 横浜市 にぎわいスポーツ文化局 文化芸術創造都市推進部 意見交換
展覧会委員会	第8回BOX展開催	6月8日 ～14日	会員、非会員を対象にした30cm立方に空間提案を広く公募する展覧会の開催
	第2回aaca 建築・美術・工芸作品展 ～会員の協奏～	1月25日 ～31日	出展40点、会場来場者約200名、豊中市、和歌山市、京都府からも応募。 エントランスに会長挨拶パネルとaaca10委員会活動紹介パネルを展示。 食品廃棄物を用いた組み立て可変式茶室の出展や、リサイクル可能な建築写真を立体的に構成したタワーも実現し、設計4社による展示の協奏する場となった。 委員会の催事を作品展前後に開催することにより、来場者のための体験価値を広げ、aacaとしての交流の強化の試みと呼び掛けた。作品展示・ギャラリートーク・講演（展覧会）、体験型ワークショップ（フォーラム）、新春の集い（総務）、景観の検証（情報文化）

特別委員会	実施事業	実施時期	概要
協会賞選考委員会	ACA賞2025（第35回）	7月1日 ～12月11日	応募総数 74作品 表彰作品 15作品 入選4作品 計19作品を現地審査 受賞作品発表 12月11日 受賞作品名は別掲
ReDesign委員会	ホームページの リデザイン	通年	企画運営会議にてリデザインしたしたホームページの確認 以降、補完作業の実施
拡大総務委員会	aacaの持続可能なあり方と会員のVALUEづくりの検討	通年毎月1 回開催	aacaの将来ビジョンの検討 aacaの持続可能なあり方の検討 会員の価値（VALUE）向上の検討

	実施事業	実施時期	概要
事務局	通年業務	通年	月次会計処理 個人情報等会員管理の実施 年会費の收受 会員証の製作・発行業務 協会主催事業等の会計処理 厚生労働省・法務省等 法的窓口等への対応 理事会 通知の作成・送付・收受、出欠の管理・記録 理事会・企画運営会議の議案書・議事録の作成 各委員会主催事業の支援
	定時総会	6月11日	議案書の作成 総会開催通知の作成・送付・收受、出欠の管理・記録 定足数の確認 会員数342名 出席者総数188名（55%） 議案 令和6年度事業報告の審議 " 決算報告の審議 報告 令和7年度 事業計画・予算

[第二号議案 令和7度 貸借対照表、財産目録、
正味財産増減計算書、及び収支計算書に関する件]

1、貸借対照表

令和7年度 貸借対照表
(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	令和7年度	令和6年度	増減
I 資産の部			
1、流動資産			
普通預金	8,293,885	6,975,036	1,318,849
未収金	426,250	521,250	△ 95,000
前払金	0	0	0
賞牌	470,734	593,530	△ 122,796
仮払金	70,000	0	70,000
流動資産合計	9,260,869	8,089,816	1,171,053
2、固定資産			
①特定資産			
賞牌準備積立資産	200,000	200,000	0
特定預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	4,200,000	4,200,000	0
②その他固定資産			
什器備品	90,589	91,883	△ 1,294
敷金	1,913,760	1,913,760	0
その他固定資産合計	2,004,349	2,005,643	△ 1,294
固定資産合計	6,204,349	6,205,643	△ 1,294
資産合計	15,465,218	14,295,459	1,169,759
II 負債の部			
1、流動負債			
未払金	31,712	91,648	△ 59,936
次年度運営引当金	5,042,750	4,787,500	255,250
預り金	237,419	237,758	△ 339
前受収益	47,000	25,000	22,000
流動負債合計	5,358,881	5,141,906	216,975
2、固定負債			
賞牌準備引当金	0	0	0
事業活動引当金	1,278,771	1,324,884	△ 46,113
AACA賞引当金	0	0	0
出版事業引当金	688,070	523,070	165,000
固定負債合計	1,966,841	1,847,954	118,887
負債合計	7,325,722	6,989,860	335,862
III 正味財産の部			
1、一般正味財産	0	0	0
(内特定資産への充当額)	(4,200,000)	(4,200,000)	(0)
正味財産合計	8,139,496	7,305,599	833,897
負債及び正味財産合計	15,465,218	14,295,459	1,169,759

2、財産目録

令和7年度 財産目録

(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1、流動資産		
現金預金		
三井住友銀行普通	5,144,432	
ゆうちょ銀行普通	938,469	
三井住友銀行シンポジウム	2,210,984	
未収金	426,250	
前払金	0	
賞牌	470,734	
仮払金	70,000	
流動資産合計	9,260,869	9,260,869
2、固定資産		
(1) 特定資産		
賞牌準備積立資産	200,000	
特定預金	4,000,000	
特定資産合計	4,200,000	
(2) その他固定資産		
什器備品	90,589	
敷金	1,913,760	
その他固定資産合計	2,004,349	
固定資産合計	6,204,349	6,204,349
資産合計		15,465,218
II 負債の部		
1、流動負債		
未払金	31,712	
次年度運営引当金	5,042,750	
預り金	237,419	
前受収益	47,000	
流動負債合計	5,358,881	5,358,881
2、固定負債		
事業活動引当金	1,278,771	
出版事業引当金	688,070	
固定負債合計	1,966,841	1,966,841
負債合計		7,325,722
3、正味財産	8,139,496	8,139,496
負債及び正味財産合計		15,465,218

3、正味財産増減計算書

令和7年度 正味財産増減計算書

(自令和7年4月1日 至令和8年3月31日)

(単位：円)

科 目	令和7年度	令和6年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金	(440,000)	(400,000)	(40,000)
個人入会金収入	240,000	150,000	90,000
法人入会金収入	200,000	250,000	△ 50,000
② 受取会費	(11,940,340)	(11,114,250)	(826,090)
個人会費収入	3,802,500	3,572,500	230,000
法人会費収入	8,137,840	7,541,750	596,090
③ 事業収入	(7,122,602)	(7,577,564)	(△454,962)
講演会等事業収入	1,750,278	600,124	1,150,154
展覧会等事業収入	1,077,000	352,000	725,000
情報交流事業収入	985,324	3,655,440	△ 2,670,116
表彰事業収入	3,310,000	2,970,000	340,000
刊行事業収入	0	0	0
③ 受取り寄付金	(30,113)	(0)	(30,113)
募金収益	30,113	0	30,113
④ 雑収入	(909,374)	(1,342,760)	(△433,386)
受取利息	19,374	3,200	16,174
雑収入	0	0	0
事業復活支援金	0	0	0
総務広告料	890,000	1,339,560	△ 449,560
経常収益計	20,442,429	20,434,574	7,855
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業経費			
事) 外注費	2,684,171	4,941,173	△ 2,257,002
事) 会議費	470,433	280,975	189,458
事) 謝金	348,058	309,748	38,310
事) 印刷製本費	956,610	625,754	330,856
事) 旅費交通費	1,669,855	1,116,226	553,629
事) 通信運搬費	432,899	464,008	△ 31,109
事) 消耗品費	228,252	330,385	△ 102,133
事) 賃借料	1,098,860	994,670	104,190
事) 給料手当	3,424,099	3,331,198	92,901
事) 法定福利費	53,203	258,125	△ 204,922
事) 保険料	0	0	0
事) 雑費	197,469	278,897	△ 81,428
事業費計	11,563,909	12,931,159	△ 1,367,250

科 目	令和7年度	令和6年度	増 減
② 管理費			
管) 給料手当	1,890,000	1,953,000	△ 63,000
管) 法定福利費	124,163	350,852	△ 226,689
管) 福利厚生費	5,282	5,282	0
管) 会議費	6,760	0	6,760
管) 旅費交通費	60,475	4,680	55,795
管) 通信運搬費	349,854	291,679	58,175
管) 減価償却費	1,294	15,204	△ 13,910
管) 消耗品費	2,723	4,738	△ 2,015
管) 外注費	0	115,500	△ 115,500
管) 印刷製本費	18,810	0	18,810
管) 賃借料	3,173,764	3,125,364	48,400
管) 水道光熱費	1,522,618	1,519,653	2,965
管) 支払報酬	715,000	660,000	55,000
管) 租税公課	80,851	70,000	10,851
管) 雑費	93,029	73,723	19,306
管理費計	8,044,623	8,189,675	△ 145,052
経常費用計	19,608,532	21,120,834	△ 1,512,302
評価損益等調整前当期経常増減額	833,897	△ 686,260	1,520,157
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	833,897	△ 686,260	1,520,157
2 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
① その他経常外費用	0	0	0
貸倒損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	833,897	△ 686,260	1,642,953
当期一般正味財産増減額	833,897	△ 686,260	1,642,953
一般正味財産期首残高	7,305,599	7,991,859	△ 686,260
一般正味財産期末残高	8,139,496	7,305,599	833,897
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,139,496	7,305,599	833,897

4、収支計算書

令和7年度 収支計算書

(自令和7年4月1日 至令和8年3月31日)

(単位：円)

科 目	7年度予算	同 決算	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取入会金				
入会金収入	500,000	440,000	△ 60,000	
② 受取会費				
個人会費収入	3,780,000	3,802,500	22,500	
法人会費収入	8,250,000	8,137,840	△ 112,160	
③ 事業収益				
調査研究事業収入				
講演会等事業収入	1,125,000	1,750,278	625,278	
展覧会等事業収入	822,000	1,077,000	255,000	
情報交流事業収入	3,790,000	985,324	△ 2,804,676	
表彰事業収入	2,700,000	3,310,000	610,000	
刊行事業収入	4,000,000	0	△ 4,000,000	
④ 受取寄付金				
募金収益	0	30,113	30,113	
⑤ 雑収入				
受取利息	0	19,374	19,374	
雑収入	0	0		
総務広告料	840,000	890,000	50,000	
他雑収益	0	0	0	
経常収益計	25,807,000	20,442,429	△ 5,364,571	
(2) 経常費用				
① 事業費				
事業経費				
事) 外注費	4,255,178	2,684,171	△ 1,571,007	
事) 会議費	560,000	470,433	△ 89,567	
事) 謝金	764,822	348,058	△ 416,764	
事) 印刷製本費	4,013,000	956,610	△ 3,056,390	
事) 旅費交通費	1,210,000	1,669,855	459,855	
事) 通信運搬費	630,040	432,899	△ 197,141	
事) 消耗品費	311,000	228,252	△ 82,748	
事) 賃借料	1,139,000	1,098,860	△ 40,140	
事) 給料手当	3,350,000	3,424,099	74,099	
事) 臨時雇賃金	26,000	0	△ 26,000	
事) 法定福利費	246,000	53,203	△ 192,797	
事) 保 険 料	30,000	0	△ 30,000	
事) 雑費	142,800	197,469	54,669	
事業費計	16,677,840	11,563,909	△ 5,113,931	

科 目	7年度予算	同 決算	差 異	備 考
② 管理費				
管) 給料手当	1,965,000	1,890,000	△ 75,000	
管) 法定福利費	370,000	124,163	△ 245,837	
管) 福利厚生費	10,000	5,282	△ 4,718	
管) 会議費	0	6,760	6,760	
管) 旅費交通費	10,000	60,475	50,475	
管) 通信運搬費	260,000	349,854	89,854	
管) 減価償却費	0	1,294	1,294	
管) 消耗品費	40,000	2,723	△ 37,277	
管) 外注費	0	0	0	
管) 印刷製本費	0	18,810	18,810	
管) 賃借料	3,300,000	3,173,764	△ 126,236	
管) 水道光熱費	1,530,000	1,522,618	△ 7,382	
管) 支払報酬	690,000	715,000	25,000	
管) 業務委託費	580,000	0	△ 580,000	
管) 租税公課	90,000	80,851	△ 9,149	
管) 雑費	50,000	93,029	43,029	
管理費計	8,895,000	8,044,623	△ 850,377	
経常費用計	25,572,840	19,608,532	△ 5,964,308	
評価損益等調整前当期経常増減額	234,160	833,897	599,737	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	234,160	833,897	599,737	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
税引前当期一般正味財産増減額	234,160	833,897	599,737	
当期一般正味財産増減額	234,160	833,897	599,737	
一般正味財産期首残高	7,305,599	7,305,599	0	
一般正味財産期末残高	7,539,759	8,139,496	599,737	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	7,539,759	8,139,496	599,737	

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本建築美術工芸協会
会長 東 條 隆 郎 殿

令和8年5月20日

監 事 尾 崎 勝

監 事 森 田 高 年

私たちは、令和7年4月1日から令和8年3月31日迄に於ける 会計及び
業務について監査を行いました。

監査の結果、計算書類は適正であり、かつ理事の業務執行の状況は適切であると
認めました。

*個人情報保護のため氏名は印字とさせていただきます。監査報告書の原本には
監事本人の「署名」をします。

以上

[第三号議案 補欠理事の選任に関する件]

1. 提案の理由

本法人理事である中村 純氏（2025年6月定時総会において選任、任期2年）が、このたび一身上の都合により辞任する旨の申し出があり、これを受理いたしました。つきましては、後任として同一会社所属の上原 耕氏を理事として選任いたしたく、ここに提案いたします。

なお、本件は定款第20条（役員を選任）および第23条第4項（補欠理事の任期）に基づき、補欠として選任される理事の任期は前任者の残任期間といたします。

以上につき、定款第17条の規定に基づきご承認をお願いするものであります。

2. 候補者の氏名

理事候補者：上原 耕氏（株式会社 大林組 設計本部 副本部長）

3. 任期について

定款第23条第4項の規定に基づき、新たに選任される上原 耕氏の任期は、前任者である中村 純氏の任期の満了する2027年6月の定時総会終結の時までとなります。

[第四号議案 名誉会員の推挙に関する件]

1. 提案の理由

当協会の副会長を長年務められた岩井光男会員を、定款第27条第1項に基づき名誉会員に推挙いたしたく、本総会の議決を求めるものであります。

岩井 光男会員は、2005年から20年間にわたり副会長等の役員として当協会の運営に尽力されました。特に、優れたご見識と豊富なご経験を活かした協会運営および委員会活動への多大な貢献は、当協会の発展に不可欠なものでありました。本件は、去る3月25日に開催された第6回理事会において全会一致で推薦が決議されております。

2. 推挙の内容

名誉会員候補者：岩井 光男 氏

（選任後は定款第27条第3項により年会費が免除され、同条第4項により終身会員となります。）

以上

当協会では、長年にわたり多大なご貢献をいただいた下記の方々を名誉役員として
顕彰しております。

・社団法人 日本建築美術工芸協会(1988～2013)

《ご逝去された名誉役員の皆様》

1989年	名誉会員	猪熊弦一郎氏
1989年	名誉会員	海老原一郎氏
1989年	名誉会員	土浦亀城氏
1989年	名誉会員	丹下健三氏
1990年	名誉会員	佐藤次夫氏
2006年	特別功労賞	芦原義信氏
2006年	特別功労賞	内井昭蔵氏
2006年	特別功労賞	近江 栄氏

・一般社団法人 日本建築美術工芸協会(2013～現在)

《ご逝去された名誉役員の皆様》

2013年	名誉会員	飯野毅一氏
2013年	名誉会員	澄川喜一氏
2013年	名誉会員	加藤貞雄氏
2013年	名誉会長	中島昌信氏
2015年	名誉副会長	宇津野和俊氏
2022年	名誉会員	絹谷幸二氏
2025年	名誉会員	松本哲夫氏

《現在ご活躍中の名誉役員の皆様》

2022年	名誉会員	岡本 賢氏
-------	------	-------

以上

報告

令和8年度事業計画

「aaca 一般社団法人 日本建築美術工芸協会」は前身の「建築美術工業会」を改称して1988年に新たに文化庁所管の「社団法人日本建築美術工芸協会」として発足し、本年は設立38周年となります。

会員は建築家・美術家・工芸家・ランドスケープアーキテクト、これらの方々の制作にかかわる企業や資材メーカー、街づくりや建築を生み出すデベロッパーなど広い分野から参加いただき、それぞれが連携・交流・切磋琢磨することで、お互いを高めあいながら、文化と芸術性豊かな空間創造を目指す活動を続けています。

さて、昨年度の協会の事業活動は会員各位のご努力により黒字決算となりました。令和8年度は会員の皆様のご理解をいただいた会費改定により安定的で健全な協会運営を進めて参りたいと思います。

昨年は、令和7年度の事業報告の通り「AACA 賞」や「BOX 展」をはじめとして協会の活動は順調に取り進めることが出来ました。また、一昨年より取組始めた、「第2回 aaca 建築・美術・工芸作品展～会員の協奏～」は多くの会員が参加され充実したものとなりました。今後も協会内外への発信強化と交流促進を進めて参ります。

さらに、文化的な空間創造のための1パーセント運動について「パーセントフォーアート研究委員会」の活動を引き続き着実に取り進めて参ります。

今年度より、これからの協会の未来を検討する組織として「aaca 未来キャンパス」を立ち上げました。会員の方々にとって価値有る協会のあり方・活動について検討を進め実践して参ります。具体的には、より多くの会員を取込む計画として、若手や中堅が興味を持って頂けるイベントの企画、学术界との関係強化、地方会員が参加できる機会創出、デジタルギャラリーの活用強化などを進めて参ります。また、アーキテクトとアーティストの共創を促す展覧会の充実、AACA 賞の価値向上、より幅広く参加頂けるシンポジウムの企画などを検討いたします。

一昨年に刷新した内外への発信媒体である会報誌およびホームページについて、引き続き魅力ある媒体となるよう取り組みを進めて参ります。

会員皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

常置委員会の活動予定

1、表彰委員会

- ・AACA 賞の表彰事業等の実施
- ・協会活動功労者の表彰事業等の実施
- ・AACA 賞応募作品紹介誌の刊行
- ・表彰及び授賞式の実施
- ・「AACA 賞受賞者紹介のつどい」開催への協力

2、情報文化研究委員会

- ・『市中の山居』～共に創る時代へ～座談会の実施
- ・七福神巡りの実施

3、文化事業委員会

- ・景観と街づくり等に関するシンポジウム等の開催
- ・地域創成にかかわる講演会の開催
- ・シンポジウム・講演会等の記録誌による情報の発信

4、会員交流委員会

- ・「第20回 aaca 建物視察会岩手地区」の企画、実施
- ・「第58回 aaca 芦原義信記念杯」実施
- ・「AACCA 受賞建物視察会」企画、実施
- ・「AACCA 賞受賞者紹介のつどい」の開催への協力

5、フォーラム委員会

- ・「aaca フォーラム」の実施(年度内3回程度予定)等の企画と実施
- ・会員の交流や気付きにつながる有志参加の視察会等の企画と実施

6、広報委員会

- ・会報『aaca』を年 3 回刊行し(104～106 号)、会員、教育機関、報道機関等に頒布

7、会員増強委員会

- ・個人・法人会員の新規入会促進
- ・「aaca サロン」の開催による新入会員の活動紹介
- ・「AACCA 賞受賞者紹介のつどい」開催

8、総務委員会

- ・会員に関する事項の確認・諸規定類の整備
- ・各委員会で作成された事業収支計画の確認
- ・事務局で作成された総会議案の確認
- ・企画運営会議からの付託事項の調整
- ・設立記念総会及び通常総会の企画運営
- ・会員交流会(年 2 回)の企画運営

9、パーセントフォーアート研究委員会

- ・芸術文化政策の事例確認、勉強会・講演会の実施
- ・地方自治体との連携活動、条例化の推進活動
- ・アンケートデータの活用と他団体との連携
- ・PFA 認知度の強化
- ・法制化、条例化へ向けたフレームワーク活動
- ・PFA に関する提言の作成

10、展覧会委員会

- ・展覧会の開催と会員交流事業の実施
- ・30cm 立方に、空間提案を広く公募する「BOX 展」の開催(第 9 回 BOX 展6月予定)
- ・会員作品の発表や、異分野の交流を協奏、豊かな文化を目指す「作品展」の開催(1月開催予定)
- ・会員開催の展覧会(個展、グループ展など)の支援
- ・美術館見学会の開催

特別委員会

- 1、 協会賞選考委員会
 - ・AACA賞・芦原義信賞・優秀賞・奨励賞・美術工芸賞等の審査、
 - ・受賞者の選定、表彰及び授賞式の実施

- 2、 リ・デザイン委員会（運用方針決定後当委員会は解散する）
 - ・リ・デザインしたホームページについて、更新担当などの運用方針の提案
 - ・方針決定までの運用支援

- 3、 未来策定特別委員会（各委員長と若手委員や応募会員などにて構成）
 - ・aaca のビジョンをふまえて社会への発信強化
 - ・aaca 会員であることの価値 (VALUE) 向上の議論
 - ・aaca における交流から共創、共感、共生へのあり方を検討

事務局

協会の理念に則って組織内で事務作業や手続きを行い、プロジェクト遂行のために組織の運営を支援する。

- 1、協会活動全般における業務・会計管理と支援
- 2、対外組織との契約・覚書等の作成・締結支援
- 3、労務に関する所轄官庁との申請、税務対応
- 4、個人情報の管理
- 5、会員の入・退会の管理と会員証の発行
- 6、協会事務局の運営管理

令和8年度 収 支 予 算 書

(単位：円)

科 目	令和8年度 予算額	令和7年度 決算	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①入会金収入				
個 人 会 員	100,000	240,000	△ 140,000	新規 10人
法 人 会 員	400,000	200,000	200,000	新規 8社
②会費収入			0	
個 人 会 員	4,446,000	3,802,500	643,500	
法 人 会 員	10,560,000	8,137,840	2,422,160	
③事業収入			0	
表彰事業収入	2,760,000	3,310,000	△ 550,000	
情報文化研究事業収入	212,500	0	212,500	
講演会等事業収入	2,215,000	1,750,278	464,722	
刊行事業収入	3,700,000	0	3,700,000	文化本 出版協賛等
情報交流事業収入	2,660,000	985,324	1,674,676	
展覧会等事業収入	645,000	1,077,000	△ 432,000	
IT事業・雑収入	0	0	0	
受取利息他	8,000	19,374	△ 11,374	
④広告収入ほか	940,000	890,000	50,000	
⑤雑収入	50,000	30,113	19,887	
事業活動収入計	28,696,500	20,442,429	8,254,071	
2 事業活動支出			0	
①事業費支出			0	
外 注 費	4,343,000	2,684,171	1,658,829	
会 議 費	330,000	470,433	△ 140,433	
謝 金	734,822	348,058	386,764	
印刷製本費	4,440,000	956,610	3,483,390	文化本出版
旅費交通費	1,284,000	1,669,855	△ 385,855	
通信運搬費	683,020	432,899	250,121	
消耗品費	200,000	228,252	△ 28,252	
賃 借 料	1,320,000	1,098,860	221,140	
給料手当(企画調査費)	3,500,000	3,424,099	75,901	
臨時雇賃金	39,000	0	39,000	
法定福利費	90,000	53,203	36,797	
保 険 料	10,000	0	10,000	
雑 費	486,500	197,469	289,031	
事業費計	17,460,342	11,563,909	5,896,433	

②管理費支出			0	
給料手当	1,965,000	1,890,000	75,000	
法定福利費	270,000	124,163	145,837	
福利厚生費	10,000	5,282	4,718	
会議費	10,000	6,760	3,240	
旅費交通費	55,000	60,475	△ 5,475	
通信運搬費	350,000	349,854	146	
減価償却費	0	1,294	△ 1,294	
消耗品費	40,000	2,723	37,277	
外注費	40,000	0	40,000	
印刷製本費	50,000	18,810	31,190	
賃借料	3,300,000	3,173,764	126,236	
水道光熱費	1,530,000	1,522,618	7,382	
支払報酬	690,000	715,000	△ 25,000	
業務委託費(外注)	600,000	0	600,000	
租税公課	110,000	80,851	29,149	
管理費雑費	65,000	93,029	△ 28,029	
管理費支出計	9,085,000	8,044,623	1,040,377	
事業活動支出・管理費計	26,545,342	19,608,532	6,936,810	
3 収支差額	2,151,158	833,897	1,317,261	
II 投資活動収支の部			0	
1 投資活動収入			0	
賞牌 事業 出版 刊行事業引当金			0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出			0	
貸倒 賞牌 記録誌制引当金			0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部			0	
1 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出			0	
貸し倒れ金			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支額	2,151,158	833,897	1,317,261	
前期繰越額	8,139,496	7,305,599	833,897	
次期繰越額	10,290,654	8,139,496	2,151,158	